

賑わいネットワーク調査の取り組みについて

1 「賑わいネットワーク調査」について

国土交通省 国土技術政策総合研究所(以下「国総研」という)が開発した手法で、賑わい向上を目的とする街路施策の検討・実施に際し、歩行者行動の調査・分析から施策の効果予測まで行うもの。

2 ねらい

鳥取駅前太平線整備、看護学校開校、シャミネリニューアルオープン、鳥取駅北口広場の移管等、鳥取駅周辺地区における大きな取り組みによる人の動きの変化を経年的に把握し、人の流れを創出する施策づくりの参考とする。第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画期間内(平成25年度～平成29年度)において、毎年調査する。

3 スケジュール

平成 25 年 10 月 国総研より関係機材とマニュアルの提供を受け、鳥取駅周辺の約 50ha で試験的に取り組む(中心市街地整備課と鳥取市中心市街地活性化協議会の直営)。

平成 26 年 10 月～ コンサルに外部委託し、鳥取駅周辺の約 100ha で施行する。

4 手順

- ① 小型ビデオカメラを取りつけた自転車で調査対象区域の全街路を撮影し、歩行者の分布等を調査する。
- ② ①で歩行者密度が高かった場所で、目的地、経路等の対面アンケートを行う。
- ③ ①、②の結果や、街路のつながり方、街区の大きさ、建物利用等を基に分析・考察する。
- ④ 状況改善のための戦略的検討や、施策効果の予測、(都市)機能配置の検討を行う。

平成 25 年度賑わいネットワーク調査対象区域 (案)

